

2000年7月18日

いすゞと GM の合併会社、北米でディーゼルエンジンの生産を開始

いすゞ自動車株式会社（以下いすゞ）とゼネラルモーターズ（General Motors Corporation 以下 GM）が、アメリカ合衆国に合併で設立したディーゼルエンジンの製造・販売会社「ディーマックス リミテッド（DMAX, Ltd. 以下 DMAX）」は、7月17日より、大型ピックアップトラック用ディーゼルエンジンの生産を開始した。

DMAX は 1998 年 9 月に、いすゞ60%、GM40%の出資比率による合併会社として、資本金1億ドルでオハイオ州モレーン市に設立され、総投資額3億ドルを投じて、最新鋭ディーゼルエンジン工場の建設を進めてきた。

新工場では、いすゞが開発した6.6リットルV8直接燃料噴射式ディーゼルエンジンを生産し、2004年には生産規模を20万基/年まで拡大する。

1997年にいすゞとGMは、GMグループのグローバルな競争力強化を図るため、開発を含めた経営リソースを効率的に活用していくことで合意した。そうした中でいすゞは、ディーゼルエンジンと商用車の分野で、グループの主体となって事業展開をすることとなり、両社の強いパートナーシップの下、現在数多くのプロジェクトを推進している。

今回の DMAX は、昨年ポーランドで乗用車用ディーゼルエンジンの生産を開始した、いすゞモーターズポルスカ（ISPOL）に続く大型プロジェクトであり、いすゞのディーゼルエンジン技術と、GMの生産能力を最良の形で融合させたものである。

生産を開始したV8ディーゼルエンジンは、Duramax6600とネーミングされ、GM製の2001年型フルサイズピックアップ、シボレー・シルバード（Silverado）、GMC・シエラ（Sierra）に搭載される。これによりGMは、このクラスにおける競争力を飛躍的に向上させるとともに、ブランドイメージの強化を目指している。

去る7月4日に、コロラド州で開催された、パイクス ピーク ヒルクライム レースには、発売に先立って、Duramax6600を搭載したGMC・シエラが出場し、ディーゼルエンジン搭載車のこれまでの記録を大幅に短縮する新記録を樹立し、幸先の良いスタートをきっている。

DMAXの生産開始により、いすゞの海外でのディーゼルエンジン生産拠点は、タイ、インドネシア、中国、ポーランドに次いで5拠点となり、エンジン供給体制が一層充実するとともに、日本・アジア・欧州・北米の世界4極体制が完成することとなった。

以上

## 会社概要

- 社名 : ディーマックス リミテッド (DMAX, Ltd.)
- 設立年月日 : 1998 年 9 月 9 日
- 所在地 : アメリカ合衆国オハイオ州デイトン地区モレーン市  
(Dryden Road, Moraine, Ohio U.S.A.)
- 資本金 : 1 億ドル
- 出資者 : いすゞ モーターズ アメリカ インク 60%  
(Isuzu Motors America, Inc.)  
ゼネラル モーターズ 40%  
(General Motors Corporation)
- 代表者 : 代表取締役社長 本木 潤
- 事業内容 : ディーゼルエンジンの製造・販売
- 生産品目 : 6.6 リットル V 型 8 気筒 直接燃料噴射式ディーゼルエンジン
- 生産能力 : 2000 年 10 万基  
2004 年 20 万基
- 生産計画 : 2000 年 1 万 7 千基  
2001 年 10 万基
- 工場面積 : 70 万平方フィート (6 万 5 千 m<sup>2</sup>)
- 従業員数 : 700 名